

船舶事故調査報告書

平成31年4月17日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	同乗者負傷
発生日時	平成30年11月4日 08時25分ごろ
発生場所	香川県高松市大島西方沖 庵治白石礁 ^{あじしらいししょう} 照射灯から真方位292° 1.2海里付近 (概位 北緯34° 24.2′ 東経134° 05.9′)
事故の概要	プレジャーボート ^{めいゆう} 明優丸は、揚錨作業中、同乗者が負傷した。
事故調査の経過	平成30年12月5日、主管調査官（広島事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	プレジャーボート 明優丸、1.7トン KA3-31055（漁船登録番号）、個人所有 第280-43766号（船舶検査済票の番号）
乗組員等に関する情報	船長、二級小型・特殊・特定
負傷者	軽傷 1人（同乗者）
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南西、風速 約1m/s、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 高潮時
事故の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、友人1人（以下「同乗者」という。）を乗せ、錨泊中、船長が同乗者と共に揚錨作業を開始したところ、錨に漁具のロープが絡まってウインチドラム（以下「本件ドラム」という。）が停止した。</p> <p>船長は、同乗者によって本件ドラムのスイッチが切られたと思い、漁具のロープを外したところ、本件ドラムが再び回転し、巻き上げられた錨を両手で支えた。</p> <p>同乗者は、危険を感じ、本件ウインチのスイッチを切ろうとし、慌てて左手を伸ばしたところ、左手小指が僅かに回転している本件ドラムの錨索に挟まれ、左手小指開放骨折を負った。</p>
分析	<p>本船は、揚錨作業中、錨に漁具のロープが絡まって本件ドラムが停止した際、船長が、同乗者によって本件ドラムのスイッチが切られたと思い、同ロープを外したところ、本件ドラムが再び回転し、危険を感じた同乗者が、本件ドラムのスイッチを切ろうとし、慌てて左手を伸ばしたことから、左手小指が本件ドラムの錨索に挟まれ、負傷したものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、揚錨作業中、錨に漁具のロープが絡まって本件ドラムが停止した際、船長が、同乗者によって本件ドラムのスイッチが切られたと思い、同ロープを外したところ、本件ドラムが再び回転し、危険を感じた同乗者が、本件ドラムのスイッチを切ろうとし、慌</p>

	てて左手を伸ばしたため、左手小指が本件ドラムの錨索に挟まれたことにより発生したものと考えられる。
再発防止策	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 緊急時においても、慌てずに作業を行うこと。・ 連携して行う作業は、声掛けをして作業の終了を確認してから次の作業を行うこと。・ ドラムによる揚錨作業中、ロープなどが絡まった際は、ドラムのスイッチが切られていることを確認してからロープを外すこと。